

自治連かぬま

第27号

発行 鹿沼市自治会連合会
編集 同 広報部会
事務局 市民部協働のまちづくり課内
(☎ 六三一―二二六〇)

ごあいさつ



鹿沼市自治会連合会
会長
小林 俊明

自治会員の皆様には、日頃より自治会の運営及び活動に対してご支援、ご協力を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。

令和五年度は、コロナ禍による諸般の規制もほぼ無くなり、当初の計画の通り連合会の事業を実施することができました。ご協力をいただいた単位自治会の皆様や自治会連合会の役員の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

さて、現在の日本では、少子高齢化問題や相次ぐ物価の上昇など、生活するうえで不安が絶えない状況であります。自治会連合会としても、目の前の激動する社会

への不安と戦う決意を固め、新年度をスタートしていきたいと思えます。令和六年度の活動方針を「共に支え合う、協働のまちづくりの推進」とし、地域力の強化、安全で安心な地域社会の実現につながるよう、社会情勢に応じた部会活動の充実などを図りながら、自治会をさらに発展させていきたいと思えます。

また、近年イベントの自粛なども相まって、自治会の役割は地域の皆様に理解されにくいものとなり、その加入率は減少傾向にあります。皆様におかれましては、これまでの経験を活かし、社会の変化に対応した事業の実施や、新たな勧誘方法の模索により、自治会加入促進を図り、より良い地域づくりを進めていただきたいと思います。そして、市民の小さな声を、市や議会に届けることも自治会連合会の大きな役割であると考えております。鹿沼市が目指す

「笑顔あふれるやさしいまち」の創造に向け、心を一つにして取り組んでいけるよう、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、皆様のさらなるご健勝、ご多幸を祈念いたしましてあいさついたします。

令和六年度役員の紹介

役職		氏名		氏名		氏名	
会長	氏名	自治会名	副会長	氏名	自治会名	監事	氏名
小林 俊明	下久我	木村 剛考	吉井 和夫	三幸町	朝日町	岡本 進一	日渡路
人見 功	千渡	鈴木 節也	毛塚 欣伸	下永野	磯 町	山市 富夫	御成橋町
徳田 正雄	坂田山	阿久津精一	瓦井 圭一	下材木町	山口 太平	須藤 宏	中粕尾
福田 恭久	貝島町	貝沼 三雄	黒川 英一	天神町	御子貝哲也	善林 栄	南上野町
秋澤 克男	下武子町	産形 剛	畠山 茂	上日向	関口 正一	矢口 有良	松原
小森 基伊	塩山町	野中 一美	大橋 悟	西大芦8区	齋藤 治	石澤 重雄	緑2丁目
須藤 宏	南上野町	備仲 征二	善林 栄	南上野町	小島 実	須藤 宏	中粕尾
山市 富夫	御成橋町	青木 芳夫	須藤 宏	中粕尾	青木 久	岡本 進一	日渡路
		藤江町					

定期総会を開催しました

- ・日時 令和六年五月二十日（月）
- ・会場 かぬまケーブルテレビホール
- ・総会出席者 自治会長86名

議事

- 議案第一号 令和五年度事業報告について
 - 議案第二号 令和五年度収支決算の認定について
 - 議案第三号 令和六年度事業計画（案）について
 - 議案第四号 令和六年度収支予算（案）について
 - 議案第五号 役員の一部補充選出（案）の承認について
- 以上すべての議案について、可決・承認されました。



総会会場の様子



表彰者代表あいさつ

氏名	自治会名	氏名	自治会名
福富 保通	東末広町	神谷 幸伸	府中町
阿久津 精一	下南摩町	桐生 一夫	榎木呂町
高木 勉	下材木町	清野 重男	鳥居跡町
福井 眞	東末広町	谷原 克忠	東末広町
佐鋪 光男	上野町	吉原 安二	上野町
鈴木 一郎	府所町	矢野 裕司	文化橋町
福田 和也	千渡	田村 セツ	東末広町
宮脇 良昌	下の沢		

★自治会連合会表彰

氏名	自治会名	氏名	自治会名
黒浜 利夫	寺町	尾竹 修一	府所町
渡邊 義夫	泉町	戸澤 光明	上材木町
渡邊 俊	文化橋町	仲田 隆	上奈良部町
島野 雄三	今宮町	石塚 雅章	下材木町
木村 昭夫	三幸町	角田 義信	府所町
風間 三男	上材木町	岡崎 良一	文化橋町
大橋 光江	千渡	増田 浩治	村井町
吉川 赫	緑町2丁目		

★自治会連合会感謝状

◆令和六年度
鹿沼市自治会連合会
感謝状贈呈・表彰者

★鹿沼市感謝状

氏名	自治会名	氏名	自治会名
黒浜 利夫	寺町	尾竹 修一	府所町
神谷 幸伸	府中町	渡邊 義夫	泉町
戸澤 光明	上材木町	渡邊 俊	文化橋町
宇賀神 宜之	下遠部	斎藤 克彦	下武子城山
長谷川 治良	古賀志町	松崎 光広	高谷
川田 儀信	下日向	渡辺 通彦	深岩
渡邊 浩久	笹原田	中里 正之	下沢
福田 茂男	引田	島田 勲	縦山町
内山 聖美	塩山町	小嶋 久雄	奈佐原町
宇賀神 久男	上奈良部町	宇賀神 一雄	下奈良部町
仲田 隆	上奈良部町	川田 高志	みなみ町
福田 晴康	板荷1区	大貫 新一	板荷2区
関根 和宏	板荷3区	中村 英明	板荷4区
永井 一廣	板荷5区	大垣 和夫	板荷6区
潮田 信男	板荷7区	村上 実	板荷8区
阿部 芳次	板荷9区	襲田 豊	西大芦1区
加藤 広美	西大芦2区	上澤 利行	西大芦3区
大貫 一男	西大芦4区	青木 市郎	西大芦5区
酒井 良彦	西大芦6区	星野 和彦	西大芦8区
大森 一美	野尻	渡邊 伸一	加園
森田 茂重	加園上	小林 和夫	上久我第一
神山 和夫	上久我第二	黒川 正光	上石川1区
柏測 仁一	茂呂	大貫 勝弘	白桑田
上田 良一	東町	菅野 悟	油田町
熊倉 操	西沢町1区	大嶋 三夫	西沢町2区
坂本 敏彦	古賀志町		

多年にわたり自治会活動にご尽力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。

持続可能で、みんなにやさしい

地域社会を目指して

活動方針

「共に支え合う、

協働のまちづくりの推進」

令和六年度はこの活動方針のもと、住民や単位自治会の協力をいただきながら、自治会の持つ強みを活かし、地域での共助体制を強化するとともに、地域力を高め、関係機関と連携しながら様々な地域課題を解決できるように、今年度事業の努力目標を次のように掲げ、具体的活動に取り組んでまいります。

- ① 共に助け合う地域づくりを推進しよう
- ② 安全安心な地域づくりを推進しよう
- ③ 若者・子どもの声を取り入れよう
- ④ 地域づくりと子育て・高齢者環境の充実を図ろう
- ⑤ 学習環境の充実を図ろう

活動報告

○能登半島地震災害義援金

令和六年一月一日に発生した能登半島地震により被災した地域に対する義援金を各

単位自治会に呼びかけました。集められた義援金277万8249円は、日本赤十字社栃木県支部鹿沼市地区を通じて被災した地域へ寄贈されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

○令和五年度

栃木県自治会連合会会長研修大会

令和六年二月一日

那須塩原市、大正堂くろいそみるひいホールにて、栃木県自治会連合会会長研修大会が開催されました。

今回の研修では、里山くらしLABO代表の池田水穂子氏が講師となり、「令和の時代の地域づくり」と題して、少子高齢化時代における自治会運営の在り方や課題解決のヒントなどについて講演されました。

事例を用いたわかりやすい講演で、自治会の現状を明らかにすることで、その課題や優先すべきこと、変わる必要性などがわかる内容でした。

近年、地域の活動におけるコミュニケーションの手段としてSNSの活用が期待されています。一方、他市で実施した住民アンケートの結果では、イベント等の実施についての優先順位は低く、『人と接する』機会を望まない傾向にあるのではないかと

推測されます。多様な主体で支える自治会を持続させるため、より現状に合った取り組みに『変化』していくことも必要ではないかと感じる研修でした。

○令和六年度

新任自治会会長研修会

令和六年六月十八日

自治会事業を円滑に進めるため、今年度、着任された五十名の新任自治会会長を対象にした研修会を開催しました。当会で作成した「自治会ハンドブック」をテキストとして、自治会の運営や市から自治会への支援制度などについて、市担当者からの説明を受けました。続いて、自治会加入促進特別委員会の吉井委員長による加入促進の講義がありました。また、近年、重要性の高まっている防災対策について、危機管理課より「自治会における災害時の対応」や、厚生課より「避難行動要支援者名簿の作成」についての説明がありました。

自治会長の皆様には、この研修やハンドブック等をご活用いただき、今後の自治会の円滑な運営にお役立てください。当会としても地域振興のために引き続きサポートしてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

自治会協議会紹介

西大芦地区

地区の特徴

市の北西部に位置し、面積は七千九百三ha。雄大な自然的景観を有する山村地域です。四季折々様々な表情を見せる古峰ヶ原高原、日光開山の祖勝道上人が修行したという県指定文化財「深山巴の宿」、大芦溪谷の大滝など豊かな自然に恵まれた当地区には、県内外から多くの観光客が訪れます。

協議会等の活動

近年、当地区では大芦川に川遊びに訪れる観光客が劇的に増え、それに伴い騒音、路上駐車、野外排泄、ごみの不法投棄といった迷惑行為が後を絶たず地域の大きな問題となっていました。自治会協議会及び各種団体は、市と共に「川遊び客対策検討会議」の中で解決に向け協議を重ねてきましたが、今年度「鹿沼市大芦川流域における生活環境等の保全に関する条例」が施行されることとなりました。

そのほか、野生鳥獣害による農業被害やクマの目撃情報が増えていることから、地域住民に情報提供と注意喚起を行っています。また、西大芦地区ふるさとづくり協議会とその関連団体では、

閉校した西大芦小学校を核として、毎週木曜日に宅配弁当事業、毎月第三日曜日に農産物市事業を実施し、地域の高齢者に食事と買い物場の場を提供しているほか、「ふるさと農園」の管理、農業体験事業、沿道のやまぶきロードの整備、特産のこんにやくいもから作るこんにやく作り教室、春秋のウォーキング事業など地域の活性化に資する事業を行っています。

今後も行政との連携を図りながら地域の維持、活性化に取り組み、元気で安心して過ごせる住みよい地域となるよう活動を進めていきたいと思っています。



▲大芦川清埝



▲農産物市

南押原地区

地区の特徴

市の南部に位置し、栃木市や壬生町と接する鹿沼の玄関口です。西側には東武日光線の楡木駅があり、国道が合流・分岐する「追分」や、国道と主要地方道の結節点があり、交通の要衝となっています。

宿場町の歴史と伝統を継承した「楡木大杉神社例大祭」や「磯山神社あじさい祭り」、本市最大級の前方後円墳の「判官塚古墳」、児童文学者千葉省三の作品の舞台など、歴史や文化の面でも誇れるものが数多くあります。

協議会等の活動

毎月自治会連絡協議会を開催し、情報交換や地域の発展、福祉向上の方向性を示すなど、地域の要として活動しています。地域のチカラ協働事業の「友遊館」では、毎月第一水曜日にイベントを実施し、秋には「おたがい様市」を開催する予定です。他にも、高齢者へ届ける「にこにこ弁当」、子育てサロンの「みなみなかよしひろば」など、

子どもから高齢者までが一堂に会して、顔を合わせながら事業を行うことで、お互いのコミュニケーション能力や思いやりの心を育くむなど地域の絆が深まる事業展開をしています。

地域の人々が様々な所に自分の「居場所」を見つけ、それぞれの居場所所で役割を持って活躍できる地域にすることで、結果としてお互いに助け合い、支えあう気持ちが生まれ、「おたがい様の精神」が広がり地域の活性化につながると考えています。

これからも「向こう三軒両隣おたがい様の精神」を合言葉に、温かく住みやすい地域を目指してまいります。



▲子育てサロン



▲スペースX

人口・・・三六二三人
世帯・・・一四〇四世帯
自治会・・・十単位自治会

(楡木開運町・楡木寿町・楡木日之出町・磯町・野沢町・亀和田町・北赤塚町・藤江町・南上野町・大和田町)